Panasonic

取扱説明書

施工説明書別添付　保管用　屋内専用

ご使用になる皆様へ

シンプルP-2シリーズ

P型2級受信機

内器　：品番 BVJ251□1（□は回線数）

内器（複合用途ビル向）：品番 BVJ252□1（□は回線数）

BVJ251□1・BVJ252□1（□は回線数）

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●この取扱説明書は大切に保管してください。
●万一、取扱説明書にしたがわず使用された場合の故障などについては責任を負い兼ねることがあります。

取り扱いについてのご注意

●平常時には次のことを守ってください。受信機の取り扱いを誤ると火災時に正しく動作せず、避難や消火活動が大幅に遅れるおそれがあります。
- ●ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。（BVJ252□1（□は回線数）の場合は、扉内にあります。）
- ●受信機を地区音響強制停止・音響強制停止状態にしない。
- ●電源スイッチや電池を切らない。
- ●正常な監視状態にあるか確認する。（平常時の受信機の状態を参照）

●警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

火災の場合	●119番などに通報する。 ●避難誘導および、可能であれば初期消火をする。
火災でない場合	●発生原因がわかれば取り除く。 ●発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

ご使用の前に

●この設備は、火災感知器などからの信号を受けて火災の発生を報知する働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
●この設備は皆様の生命・財産を火災から守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
●この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検を行ってください。
（定期点検は、施主様と施工店または点検契約店でご契約ください。）

定期点検

●防災設備は、設置後の保守点検・維持管理がともなって、はじめて正常な機能を発揮する商品です。
施工店または点検契約店と「点検契約」を結んでください。

点検は法律で義務づけられています。

●消防関係法令では、防火対象物の関係者（建物の所有者、管理者または占有者）は、定期点検の実施およびその結果を報告するように定められています。
●点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

■消防法施行規則第31条の6

●点検は、消防用設備などの種類および点検内容により1年以内で、消防庁長官が定める期間ごとに行う。
●点検を行った結果は、維持台帳に記録し、消防機関へ報告を行わなければならない。

■点　検

対象の設備	点検の内容および方法	点検の期間
自動火災報知設備	機器点検	6ケ月に1回
	総合点検	1年に1回
配　線	総合点検	1年に1回

■報　告

特定防火対象物の場合	1年に1回
特定防火対象物以外の場合	3年に1回

点検には資格が必要です

●定期点検は、国が定めた資格者（消防設備点検資格者または消防設備士）が行うよう、法令で決められています。

■消防法第17条の3の3

●消防用設備の点検は、消防設備士または総務省令で定める資格者に行わせなければならない。

「パナソニック防災取扱店」と点検契約をおすすめします

●パナソニック防災取扱店などと「点検契約」を結ぶと、専門の知識・技術を持つ有資格者が定期的に訪問し、責任を持って防災設備の点検をいたします。
防災設備の正常な機能を維持するために、「点検契約」を結ばれることをおすすめします。

こんなときは

●下記のような場合、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店にご連絡ください。

お手入れ方法

●表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。
- ●ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。
- ●汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
- ●化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。

ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。

安全上のご注意　■必ずお守りください

⚠警告

分解禁止

機器を分解したり、修理・改造しない。
故障の原因となります。

禁止

保守・点検以外でベル（地区音響）一時停止スイッチを押さないでください。（スイッチ内のランプ・スイッチ注意灯が点滅状態）（BVJ252□1（□は回線数）の場合は、扉内にあります。）
火災時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

防火管理者および消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れないでください。
感電・故障の原因となります。

ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけないでください。
感電・故障の原因となります。

感知器は絶対に取りはずさないでください。
出火時に火災発見ができません。

●点検用スイッチカバー内にあるスイッチは操作しないでください。（BVJ251□1（□は回線数）の場合）
●扉内にある受信機音響停止スイッチ、ベル（地区音響）一時停止スイッチ、ベル（地区音響）一時停止解除スイッチ以外のスイッチは操作しないでください。（BVJ252□1（□は回線数）の場合）
（点検資格者、消防設備士が操作するところです。）

⚠注意

必ず守る

受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認してください。
正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。

点検用スイッチカバーは必ず閉じてください。（BVJ251□1（□は回線数）の場合）
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

平常時の受信機の状態

●火災が発生したとき、受信機が正常に動作するよう、平常時は下表の状態であることをお確かめください。
●平常時において下表の状態とならない場合、「異常時の点検・処置」（裏面）の内容を確認のうえ点検契約店にご連絡ください。

表　示　部	状　態
スイッチ注意灯	消　灯
トラブル灯	消　灯
交流電源灯	点　灯
火　災　灯	消　灯
地　区　灯	すべて消灯
音響強制停止灯	消　灯
地区音響強制停止灯	消　灯
ベル（地区音響）一時停止スイッチ内のランプ	消　灯
警 戒 中 灯	点　灯
ガイド表示灯（下矢印）	消　灯
発 信 機 灯	消　灯

ベル（地区音響）一時停止動作について

●感知器が作動し、地区音響が鳴動しているときにベル（地区音響）一時停止スイッチを押すと地区音響が一時的に停止します。その後、機能設定（ソフト設定）で設定された時間（自動解除時間（TA））経過後に再度、地区音響が鳴動する動作です。一時停止中に発信機の発報が入った場合、または第2発報目の火災発報が入った場合は、自動解除時間（TA）中であっても自動的に解除し、地区音響が鳴動します。

※自動解除時間（TA）は、約2分間、約4分間、約6分間、約8分間で設定することができます。現在、設定されている時間を確認する場合、または設定時間を変更する場合は、施工店・点検契約店にご相談してください。

各部のなまえとはたらき

受信機が警報した場合

●BVJ252□1（□は回線数）の場合、扉内にスイッチ・表示部があります。

■主音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

●発信機の押ボタンが押されて発報している場合は、発信機灯が点滅します。押ボタンを元に戻すと消灯します。
●発信機灯が消灯している場合は、感知器が作動したことによる発報です。

1 受信機音響停止スイッチを押し、主音響を止める。（地区音響は鳴動しています。）

2 地区灯（赤）の点灯位置によってどこで火災が起きているか確かめる。

3 出火場所へ行き状況を確認する。

火災の場合

4 119番に通報する。

その後、可能であれば避難誘導や初期消火など適切な処置をする。

5 火災鎮火後、復旧スイッチを押して通常の監視状態に戻す。

（平常時の受信機の状態（表面）を参照）

火災でない場合

4 ベル（地区音響）一時停止スイッチを押して、地区音響を止める。

（●スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅し、ガイド表示灯が点灯します。
●発信機灯が点滅している場合は、ガイド表示灯は点灯しません。）

スイッチ内のランプとスイッチ注意灯およびガイド表示灯は、自動解除時間（TA）（約2分間・約4分間・約6分間・約8分間）経過後に消灯し、地区音響が再び鳴動します。

（自動解除時間（TA）は、約2分間・約4分間・約6分間・約8分間で設定することができます。現在、設定されている時間を確認する場合、または設定時間を変更する場合は、施工店・点検契約店にご相談してください。）

5 地区灯の点灯している警戒場所で、次の状況を確かめ処置する。

感知器が作動していないか？

●ガイド表示灯は点灯しています。
●確認灯付感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。

処置：作動した感知器から煙または熱を取り去る。

●煙感知器の場合、水蒸気・ホコリ・調理の煙などでも作動することがあります。
●熱感知器の場合、ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、気温が変化すると作動することもあります。

発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？

●発信機灯が点滅し、ガイド表示灯は消灯しています。

点滅　発信機が押されています

処置：発信機の押ボタンを元に戻す。

6 復旧スイッチを押し、地区灯と火災灯が消えるか確かめる。

●ベル（地区音響）一時停止スイッチ内のランプとスイッチ注意灯およびガイド表示灯が消えます。
●感知器の確認灯も消えます。
※地区灯・火災灯が消えない場合はもう一度 456 の手順を繰り返してください。

7 通常の監視状態に戻る。

（平常時の受信機の状態（表面）を参照）

地区灯・火災灯が消えない場合や処置できない場合は、点検契約店へご連絡ください。

異常時の点検・処理

⚠警告

必ず守る

この設備に異常があるときは以下の点検・処置をしてください。異常を放置すると火災時に警報が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

●以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。

状　　態	点　　検	処　　置
交流電源灯が消灯している。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切(OFF)」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入(ON)」側にする。
警戒中灯が消灯し、操作部のすべての表示灯が点灯している。		
火災でないのに警報動作をする。	煙感知器の近くに調理の煙・水蒸気・ホコリなどが滞留していないか？	煙・水蒸気などを取り除き、復旧スイッチを押す。
	熱感知器の近くにストーブなど暖房の熱が直接当たっていないか？	熱などを取り除き、復旧スイッチを押す。
	発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？	発信機の押ボタンを元に戻し、復旧スイッチを押す。
	どこにも火事や煙の発生がないことを十分確認しましたか？	地区音響を再鳴動させたくない場合は、地区音響強制停止にしてください。(施工店・点検契約店に連絡してください。)
		注 スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯し、約1分間隔でピッ音が鳴ります。この状態のままでは、正常に警報動作を行うことができません。必ず施工店または点検契約店に連絡してください。
スイッチ注意灯が点滅している。	ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していないか？	●ベル(地区音響)一時停止解除スイッチを押す。 ●ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点滅していない場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

●BVJ252□1(□は回線数)の場合、扉内にスイッチ・表示部があります。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

※印はトラブル音響鳴動設定を「使用」側に設定してある場合、音が鳴ります。
(施工説明書を参照してください。)

状　　態	点　　検	処　　置
交流電源灯が消灯している。または、警戒中灯以外の操作部ランプが点灯している。	受信機内の交流電源スイッチが「切」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	電源一次ヒューズ(F1・F2)が切れていないか？	ヒューズ(F1・F2)を交換する。
	AC100V配線が断線していないか？	配線を直す。
警戒中灯が消灯している。	音響強制停止灯(赤)が点滅していないか?	音響強制停止状態を解除する。
	試験復旧灯(赤)が点滅していないか？	試験復旧スイッチを押す。
	地区音響強制停止灯(赤)が点滅していないか？	地区音響強制停止状態を解除する。
火災でないのに警報動作している。	感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか?	配線を直す、感知器を確認する。
	火災以外の原因はないか？	日常点検をする。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の電池異常灯が点灯している。	受信機内の電池が接続されているか？	受信機内の電池を接続する。
	電池ヒューズ(F3)が切れていないか？	ヒューズ(F3)を交換する。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の電池異常灯が点滅している。	電池試験を行い、電池試験結果が「良」となるか？	新しい電池と交換して、再度、電池試験を行い、トラブル灯と電池異常灯が消灯することを確認してください。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回線異常灯が点滅している。	一斉試験を行い、火災表示試験項目で全回線点灯するか？または、火災試験を行い全回線正常に火災状態になるか？	受信機内部の火災受信回路が故障です。当社へお問い合わせください。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回線異常灯が点灯している。	感知器配線が断線していないか?	配線を直す。
	感知器の配線に終端抵抗器が接続されているか?	終端抵抗器を接続する。

●BVJ252□1(□は回線数)の場合、扉内にスイッチ・表示部があります。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

※印はトラブル音響鳴動設定を「使用」側に設定してある場合、音が鳴ります。
(施工説明書を参照してください。)

状　　態	点　　検	処　　置
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の回線異常灯が点灯している。	指定以外の終端抵抗器が接続されていないか?	指定の終端抵抗器(BV9840010)と交換する。
	使用していない回線のあき回線設定がしてあるか？	あき回線設定スイッチを「あき(未使用)」側に設定する。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のヒューズ断線灯が点灯している。	地区音響ヒューズ(FB)が切れていないか？	ヒューズ(FB)を交換する。
	副受信機ヒューズ(FI)が切れていないか？	ヒューズ(FI)を交換する。
	表示灯ヒューズ(FU)が切れていないか？	ヒューズ(FU)を交換する。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内の外部トラブル灯が点灯している。	トラブル入力端子(TBI‐U−)間が短絡していないか？	配線を直す。
	トラブル入力端子(TBI‐U−)間の接続機器が出力していないか？	接続機器を確認する。
※ 交流電源灯が消灯し、トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル詳細灯がすべて消灯している。	受信機内の交流電源スイッチが「切」側の状態で電池の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	副受信機電源(I＋‐I−)が20.4V以上あるか？	受信機内部の電源回路が故障です。当社へお問い合わせください。
	停電などにより交流電源が切れていないか？	停電状態が復電するまで待つ。
※ トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル詳細灯がすべて消灯している。	一斉試験を行い、ソフト設定確認項目でガイド表示灯(下矢印)が点滅していないか？	登録データ異常です。施工店または点検契約店に連絡してください。
火災警報状態で復旧スイッチを押しても復旧しない。	感知器または発信機が作動状態になっていないか？	●感知器から熱または煙を取り除く。 ●発信機の押ボタンを元に戻す。
	感知器配線が短絡していないか？	配線を直す。
	発信機灯が点滅していないか？	発信機の押ボタンを元に戻す。
操作表示部の警戒中灯以外のすべてのランプが点灯している。	副受信機電源(I＋‐I−)が20.4V以上あるか？	受信機内部の電源回路が故障です。当社へお問い合わせください。

●BVJ252□1(□は回線数)の場合、扉内にスイッチ・表示部があります。

主音響・トラブル音響について

受信機の状態	警報音	音声メッセージ
火災警報(第1報)	ピーピー	火災感知器が作動しました。現場を確認してください。(女性の声)
火災警報(第2報または発信機発報)	ピーピー	火事です。火事です。現場を確認してください。(男性の声)
トラブル	ピ――	トラブルが発生しました。(女性の声)
※蓄積開始	ピッ	―

※蓄積開始音響は設定により鳴動させなくすることもできます。

連絡先一覧表

施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施　工　店	TEL
整 備 竣 工	年　　　月　　　日

内部回路図

●スイッチおよびリレーの接点方向は平常時の状態を示します。

■適用品番　内器：BVJ251□1・BVJ252□1(□は回線数)

記号	名　称
SW1	あき回線設定ディップスイッチ
SW2	機能設定ディップスイッチ
SW301	交流電源スイッチ
F1,F2	電源一次ヒューズ
F3	電池ヒューズ
FB	地区音響ヒューズ
FI	副受信機ヒューズ
FU	表示灯ヒューズ
SP	主音響・トラブル音響
RL1〜RL5	回線別移信リレー
RL6	非常放送火災確認リレー
RL7	代表移信リレー
RL201	地区音響リレー
RL202	火災復旧リレー
RL203	消火栓連動リレー
RL204	火災代表移信リレー(移信停止機能付)
RL205	火災代表移信リレー
RL221	地区音響コモンリレー
BT	電池
ZNR301	サージアブソーバ
LD1	交流電源灯
LD2	警戒中灯
LD3	トラブル灯
LD4	地区音響強制停止灯
LD5	音響強制停止灯
LD6	スイッチ注意灯
LD7,LD8	火災灯
LD9〜LD13	地区灯

※ZNR301(サージアブソーバ)は雷サージ対策部品です。

記号	名　称
LD14	発信機灯
LD15	地区音響一時停止灯
LD16	ガイド表示灯(下矢印)
LD17	電池試験結果灯
LD19	蓄積解除灯
LD20	試験復旧灯
LD21	点検灯
LD22	移信停止灯
LD23	電池異常灯
LD24	回路異常灯
LD25	蓄積中灯
LD27	ヒューズ断線灯
LD28	外部トラブル灯
R424, R425	充電抵抗
S1	受信機音響停止スイッチ
S2	ベル(地区音響)一時停止スイッチ
S3	ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ
S4	復旧スイッチ
S5	一斉試験スイッチ
S6	電池試験スイッチ
S7	選択スイッチ
S8	火災試験スイッチ
S9	蓄積解除スイッチ
S10	試験復旧スイッチ
S11	点検スイッチ
S12	移信停止スイッチ

定格・仕様

項目	内容			
国家検定型式番号	受第24〜6号			
常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2)	回線数	3	5
		消費電力：警戒時最大	9VA	
		消費電力：警報時最大	27VA	
予備電源	DC 12V 600mAh　ニッケルカドミウム蓄電池 (充電方式：トリクル充電　充電電流12.0mA)			
地区音響装置	3回線：DC 24V 120mA(BL＋‐BC(−)) 5回線：DC 24V 200mA(BL＋‐BC(−))			
非常放送連動	無電圧接点(EC‐EA1‥EAn,EF) 接点容量DC 30V 1Aまで ※非常放送連動を行う場合は、移信用リレーユニット(シンプルP−2シリーズ用)(別売)が必要です。EC−EF接点が閉じるのは、発信機発報および感知器発報2回線以上の場合です。			
表示灯	DC 24V 180mA(U1‐U2)			
副受信機電源	DC 24V 150mA(I＋‐I−)			
感知器電圧・電流	DC 24V　短絡電流27mA 外部配線抵抗　往復50Ω以下(C‐L1…Ln)			
終端抵抗器	10kΩ(BV 9840010) 5.1kΩの対応も可能			
感知器接続数 ※熱感知器(一般型熱感知器・差動式分布型感知器・差動式スポット型感知器(試験口付))は、1回線当たりの接続数の制限はありません。	当社熱サイバーセンサ(A)　：1回線当たり80コまで 当社煙サイバーセンサ(B)　：1回線当たり30コまで 当社煙サイバーセンサ(熱検知機能付、2信号)(C)　：1回線当たり20コまで 当社光電式分離型感知器(D)　：1回線当たり1セットまで 当社炎感知器(E)　：1回線当たり20コまで ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 $A+4(C+E)+\frac{8}{3}B \leqq 80$、$D=1$			

項目	内容
主音響装置	警報音(断続音)＋音声メッセージ　26mA・85dB/m以上
副受信機	DC 24V 200mA/回線(C‐I1…In) ※副受信機と接続する場合は、P型2級用副受信機5回線内器(別売)に同梱されている「副受信機移信用リレーユニット」を受信機に取り付けたうえで、受信機と副受信機間の接続を行ってください。
消火栓始動	無電圧接点(H1‐H2)接点容量DC 30V 1Aまで
移信接点	無電圧接点2系列(Fd1‐Fa1・Fb1〔移信停止機能付〕) (Fc2‐Fa2) 接点容量DC 30V 1Aまで 移信用リレーユニット(別売)にて4系列追加できます。 ●Fdn−Fan移信停止機能付　DC 30V 1Aまで ●火災代表移信とトラブル代表移信をジャンパー設定にて切替可能
トラブル入力	無電圧入力(TBI‐U−)DC24V短絡電流5mA
蓄積時間	公称蓄積時間60秒(煙感知器…60秒　熱感知器…10秒)
使用周囲温度	0℃〜+40℃
適合ボックス	露出ボックス(BVJ8512)・埋込ボックス(BVJ8201)
質量	BVJ25131・BVJ25151の場合：約2.1kg BVJ25231・BVJ25251の場合：約2.6kg
主要部品材質	鋼板(扉　BVJ25131・BVJ25151の場合 t＝1.0 BVJ25231・BVJ25251の場合 t＝1.2) 5分ツヤ有　メラミン塗装

アフターサービス

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック　エコソリューションズ修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日／受付9時〜20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪 ☎06-6906-1090
札幌 ☎011-261-6401 (転)　名古屋 ☎052-551-7900 (転)
東京 ☎03-5392-7190 (転)　福岡 ☎092-622-0531 (転)
※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック　お客様ご相談センター　365日 受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
■上記番号がご利用いただけない場合…**06-6907-1187**
■FAX　フリーダイヤル…**0120-878-236**
※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地　電話 0120-283338　FAX 0120-551626

8A3 F81 00001　S0612-0A